

～認知症は“早期発見・早期対応”が大切です～

土浦市認知症初期集中支援チーム

認知症初期集中支援チームとは？

保健師や社会福祉士などの専門職がチームとなり、認知症の専門医の協力を得て活動します。



どんな活動をするの？



土浦市にお住いの、認知症またはその恐れのある方やご家族のお宅を訪問して、お話を伺い、今後の対応を一緒に考えます。必要に応じて関係機関と連携を図りながら、医療機関への受診や介護保険サービスの利用など助言と支援を行います。

対象となる方は？

40歳以上の市民で、自宅で生活されており、かつ認知症の恐れがある方や認知症の方で、次の①～④のいずれかに該当する方。

- ① 認知症の診断を受けていない方
- ② 継続的な医療を受けていない方
- ③ 適切な介護保険サービスを利用していない方や、利用を中断している方
- ④ 認知症の症状が強いため、対応に困っている方



ご相談・
ご連絡は

地域包括支援センター かねだつ (土浦市神立中央五丁目4-14)

☎029-869-7035

【かねだつ担当地区】
二中地区 五中地区
都和地区 新治地区

地域包括支援センター うらら (土浦市大和町9-2 ウララビル4F)

☎029-824-0332

【うらら担当地区】
一中地区 三中地区
四中地区 六中地区



©土浦

土浦市役所高齢福祉課地域支援係 土浦市大和町9番1号

TEL : 029-826-1111 (内線2500) FAX : 029-825-5066

家族がつくった 「認知症」 早期発見のめやす

日常の暮らしの中で、認知症ではないかと思われる言動を、「家族の会」の会員の経験からまとめたものです。医学的な診断基準ではありませんが、暮らしの中での目安として参考にしてください。

いくつか思い当たることがあれば、早めに専門家に相談してみましょう。

●もの忘れがひどい

- 1 今切ったばかりなのに、電話の相手の名前を忘れる
- 2 同じことを何度も言う・問う・する
- 3 しまい忘れ置き忘れが増え、いつも探し物をしている
- 4 財布・通帳・衣類などを盗まれたと人を疑う



●判断・理解力が衰える

- 5 料理・片付け・計算・運転などのミスが多くなった
- 6 新しいことが覚えられない
- 7 話のつじつまが合わない
- 8 テレビ番組の内容が理解できなくなった



●時間・場所がわからない

- 9 約束の日時や場所を間違えるようになった
- 10 慣れた道でも迷うことがある



●人柄が変わる

- 11 些細なことで怒りっぽくなった
- 12 周りへの気づかいがなくなり頑固になった
- 13 自分の失敗を人のせいにする
- 14 「このごろ様子がおかしい」と周囲から言われた



●不安感が強い

- 15 ひとりになると怖がったり寂しがったりする
- 16 外出時、持ち物を何度も確かめる
- 17 「頭が変になった」と本人が訴える



●意欲がなくなる

- 18 下着を替えず、身だしなみを構わなくなった
- 19 趣味や好きなテレビ番組に興味を示さなくなった
- 20 ふさぎ込んで何をするのも億劫がりいやがる

